


「企業と国際協力NGOの連携 シンポジウム」  
—世界を変えるベスト・カップリングとは—

## 進化するNGOと企業の関係




2010年2月12日  
青少年総合国立オリンピック記念センター(代々木)

CSOネットワーク  
黒田かをり

## NGOと企業の変化

- 従来の関係は、どちらかといえば一方通行の関係
  - 企業＝ドナー、NGO＝受益者の関係
  - NGO⇒企業行動を監視、批判
- ⇒ 持続可能な社会の実現に向けて、対話、コミュニケーション、協働などを通して、互いに  
関わり合う関係に

変化？ 多様化？ 進化？



CSO Network Japan

## 変化の背景

- 持続可能な発展
- 社会的責任
- 他のステークホルダーとの関係



CSO Network Japan

## 持続可能な発展

- 地球規模の課題の深刻化(貧困問題、貧富の格差拡大、環境破壊、食料問題、人権侵害、労働問題その他)
- 国際的な決め事  
アジェンダ21、ヨハネスブルク宣言、ミレニアム開発目標
- 地球の持続可能性、組織の持続可能性  
トリプルボトムライン(CSRの主要な概念)



CSO Network Japan

## 社会的責任

- 企業を対象とした概念として発展
- グローバル化を背景に世界レベルで企業の社会的責任(CSR)への関心が高まる
- NGO、国際機関、学生、政府などの企業をとりまくステークホルダーが企業にCSRを要請
- 規格・基準作成の動き
- 市場がCSRを評価する動きー社会的責任投資



CSO Network Japan

## 社会的責任ー続き

- 日本におけるCSRは、コンプライアンス＋社会貢献＋環境を中心に発展。国際的なCSRの潮流は日本企業にも大きな影響を及ぼす。
- 持続可能な社会の実現のためには、企業だけでなく、社会の構成メンバーである、あらゆる組織にも社会的責任が求められる。
- ISO26000(社会的責任のガイダンス文書)策定



CSO Network Japan

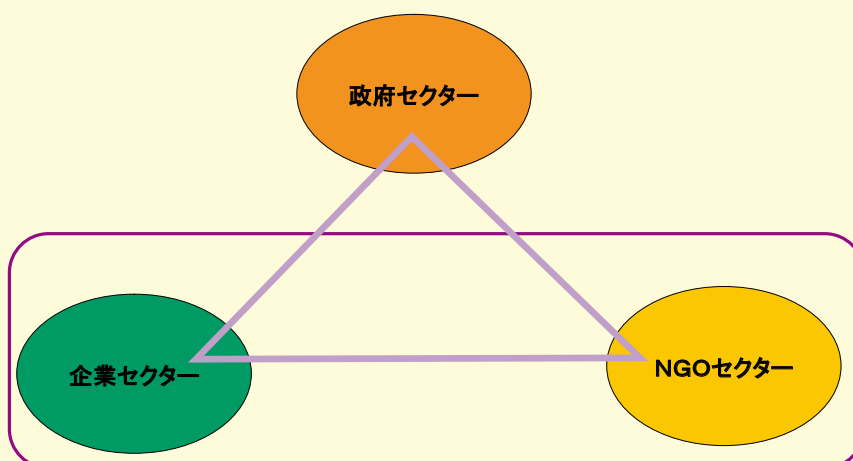
## ステークホルダーとの関係

- ステークホルダー: ある組織の活動や決定に影響を及ぼすことができる人やグループ、また組織の活動や決定によって影響を受けるグループや人々のこと
- ステークホルダー・エンゲージメント: ステークホルダーが互いに関わり合い、責任を分かち合い、地域であるいは地球全体で社会的責任を向上させていこうという考え方
- 組織が社会的責任を理解し、運営体制に組み入れ、実践し、見直し、改善する全過程において重要とされる⇒ISO26000の中心的な概念



CSO Network Japan

## 異なるセクターの関係図 21世紀型



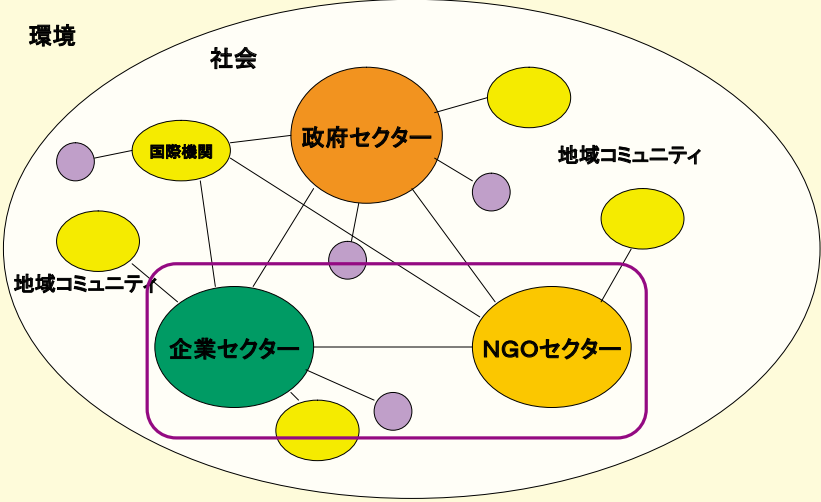
CSO Network Japan

# 大きなくりの中での関係

- 従来のNGOと企業の関係ー同じ民間なのに遠い存在
    - 営利 対 非営利
    - 異なる組織文化
    - 市場経済との関わり方の違い
    - 企業ー政府、NGOー政府の関係のほうが近い
- ⇒ 企業とNGOが関わり合う場面が増えている。多様化、複雑化

社会や環境との関係の中でとらえ直す必要

# 社会や環境との関係の中で存在している企業とNGO



## NGOと企業の係わり合いの 多様化

- 寄付等の支援、社員のボランティア活動、企業の社会貢献活動の共同開発
- コーズリレーテッドマーケティング
- 途上国における官民、民民連携
- その他



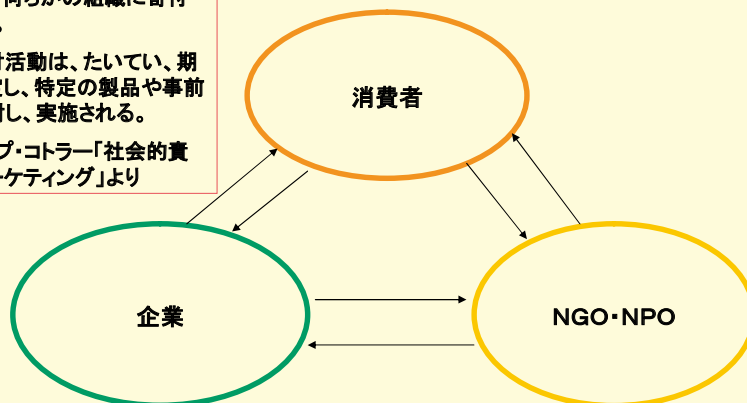
CSO Network Japan

## コーズリレーテッドマーケティング

企業が製品の売上から得られた利益を何らかの組織に寄付すること。

その寄付活動は、たいてい、期間を限定し、特定の製品や事前活動に対し、実施される。

(フィリップ・コトラー「社会的責任のマーケティング」より)



CSO Network Japan

## 途上国における官民、民民連携

- 開発途上国の低所得者層や社会的に弱い立場に置かれている人々が抱える開発課題をビジネスで改善しようとする取り組みが世界的に注目を集めている。
- 援助機関、政府機関と民間セクターのあらたな関係
- 民間セクターとNGO、地域コミュニティの新たな関係



CSO Network Japan

## 開発と企業に関する異なる考え方

- 企業とNGOの新しい関係によって、貧困層の生活を一変させるビジネスモデルが実現（C.K.プラハラッド）
- 一方で
- 「企業の存在と持続的開発の実践は根本的に相容れない」という考え方（マイケル・エドワーズ）



CSO Network Japan

## NGOのあらたな展望と課題

- 企業との関わりが広がることは良いこと。
- 一方、課題を認識しそれを乗り越えていかなければならない。
  - ✓ CSRの視点
  - ✓ 専門家の視点
  - ✓ コミュニティ、会員、支援者などのステークホルダーの視点
  - ✓ アドボカシーの視点

